

児童養護施設等に地上デジタルテレビを22台寄贈

神奈川県遊技場協同組合（理事長：関根貞雄）と神奈川県福祉事業協会（会長：平川正寿）は昭和60年から継続している社会貢献事業の一環として、この度県内の児童養護施設等22施設に対し、社会福祉法人神奈川県共同募金会を通じて地上デジタルテレビ22台を寄贈いたしました。

1. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合、神奈川県福祉事業協会
2. 寄贈品目	地上デジタル対応型テレビ22台（約260万円相当）
3. 贈呈式	平成21年7月28日（火）午後3時～ 神奈川県遊技場協同組合会館 役員室
4. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合 理事長 関根貞雄 神奈川県福祉事業協会 会長 平川正寿
5. 受贈者	社会福祉法人神奈川県共同募金会会長 牧内良平氏
6. 寄贈先施設	・児童養護施設 「聖母愛児園」など19施設 ・母子生活支援施設 「カサ・デ・サンタマリア」など3施設 合計22施設

5. 概要 寄贈にあたり、平川会長は「現在情報化社会であり、テレビは欠かすことのできないものとなっています。2年後には地上デジタル化されるとのことで、現在設置されているテレビでは受信できないこととなります。今回県内の児童養護施設や母子生活支援施設に地デジ対応型のテレビを寄贈することとしましたが、各施設で生活する児童や入所者の方々に喜んで頂けるものであれば、嬉しい限りです。これからもこうした活動を継続したいと考えておりますので、どうぞ私たちの気持ちを汲んで下されば幸いと存じます。」と挨拶いたしました。

これに対し、寄贈を受けた牧内良平会長から「2年後に国内全体が地上デジタル化されるということで、各施設からこれに対応するテレビの寄付申し込みがたくさん寄せられています。地上デジタルテレビを数多く頂くことができたことは大変有り難いことです。児童養護施設や母子生活支援施設の入所者も大変喜んでおります。」と感謝を述べられました。



左より、牧内会長、関根理事長、平川会長